

うさぎ組だより 12月



舞い散る枯れ葉や冷たい風に、本格的な冬の訪れを感じるようになりました。子どもたちは体力もついてきて、寒さにも負けずお友だちと一緒に、この時期ならではの遊びを楽しんだり、楽しく走り回ったりして過ごしています。今月も、風邪や感染症などに十分気を付けながら、元気いっぱい過ごしていきたいと思います。また、今年1年も保護者の皆様のご理解とご協力のもと、健やかな成長の手助けができたこと、心より感謝申し上げます。来年も引き続き、子どもたちの笑顔がたくさん見られるよう保育を行なっていきたいと思っています。



12月の目標

- 感じたことを自分の言葉で話し伝えようとする。
→自分の気持ちや些細な気付きなど、子どもの発信をなるべく見逃さずに受け止めていきます。
- 行事や戸外の気候や景色の変化から季節の移り変わりを感じていく。
→日常の中での様々な変化を言葉にして共有していく。子ども自身が不思議に感じたり、わくわく感を持てるように働きかけていきます。
- 今月の歌♪「あわてんぼうのサンタクロース」
「コンコンくしゃんのうた」

リズム体操♪楽しいね

雨の日など、お部屋でリズム体操をしています。子どもたちはキーボードの音を聞くと「すわる」「うさぎ」「どんぐり」「おうま」など何の動物になって動くのかを覚えており、上手にリズムをとりながら体を動かします。上半身を脱力してジャンプしたり（うさぎ）、四つ這いから高這いになったり（おうま）と、とても上手です。更に親子ふれあい会で踊った「きみはできるかな」も大人気でそれぞれの動物になりきって体を動かすことを楽しみながら心と体を育てていきたいと思っています。

うさぎ組さんのお着替え

最近のうさぎ組さんは、お着替えを自分で上手にできたり、やってみよう！と一生懸命取り組む姿がよく見られるようになってきました。“頑張ろう！”と挑戦していますが、「かたいよ・・・」「きついよ・・・」と、なかなか上手にできないという姿もよく見られます。以前のおたよりでも紹介しましたが「自分で」という子どもたちの意欲的な姿を大切にしていきたいと思っています。そこで、今後お子さまの洋服をご用意していただく際に、子どもたちが自分で着脱しやすい、少しゆとりがあるものをポイントに選んでいただけたらと思います。子どもたち一人ひとりと向き合い「できた！！」の喜びを共有していけたらなと思っています！